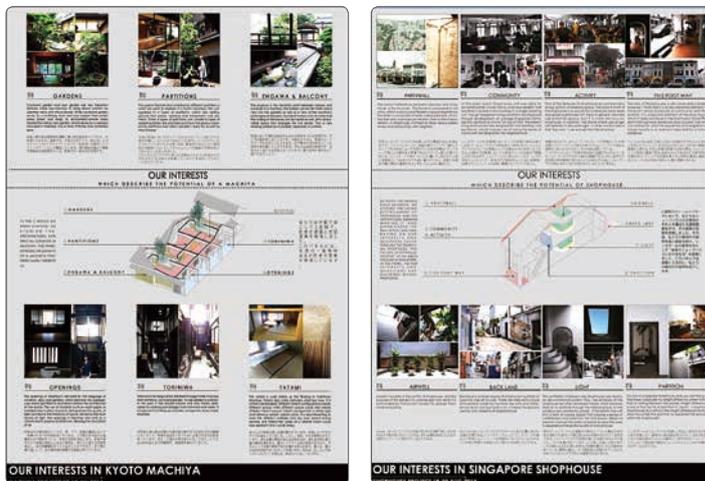


# 国際デザインワークショップ 「いにしへの英知がつくるアジアの未来」



## DATA

## ● 主な連携先・メンバー

日本大使館・ジャパングリエイティブセンター／シンガポール国立大学／京都工芸繊維大学／関西大学／三菱地所設計／日建設計／NTTファシリティーズ／DEG／LIU & WO／DPA 等

## ● 活動地域

東京／京都／シンガポール

## ● 活動資金

国際交流基金など

## 活動の目的

- 1 | シンガポールと日本の建築学科学士の交流
- 2 | 京都の町家とシンガポールのショップハウスという伝統的都市型住宅の提案

## 連携にいたる経緯

建築教育・建築設計を通して、如何にシンガポールと日本の国際交流に貢献できるかというコンセプトを大学と企業、日本大使館が立場を超えて協働し、シンガポールの大学や企業、政府機関も賛同した結果、関係者の熱意と努力によって実現した。

## 活動内容

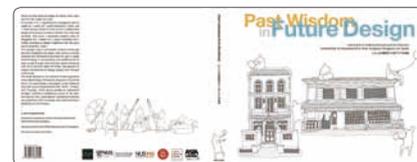
2014年夏、シンガポールの学生(6名)は2週間、東京の日本企業三社で建築設計のインターンシップを受けた後、京都で日本の学生(6名)と合同で、新しい町家の設計提案を2週間かけて行った。このプログラムをシンガポールでも同様に実施し、シンガポール企業三社でのインターンシップ、新たなショップハウスの設計提案を行った。両国の伝統的な都市住宅を評価し、若い世代が未来のアジアにおける都市住宅を提案するというデザインワークショップを、大学・企業・政府機関が協働して実施するユニークな手法は高く評価された。さらに、このインターンシップ及び設計提案の成果を2014年秋に、シンガポール大使館併設のジャパングリエイティブセンターで展覧会として発信した。さらに、2015年秋には「Past Wisdom in Future Design (いにしへの英知がつくるアジアの未来)」(宮内智久・木下光編) (ISBN: 978-981-09-6995-0) を出版し、まとめとしてシンガポール建築家協会にて、シンポジウムBOOK LAUNCH@ARCHIFESTを行った。



展覧会



シンポジウム



出版した書籍



関係者による記念撮影

## 活動の成果

- 1 | デザインワークショップの成果をシンガポールのジャパングリエイティブセンターで展示
- 2 | デザインワークショップの成果を書籍にまとめ(英語・日本語併記)出版
- 3 | Book Launchシンポジウムをシンガポール建築家協会にて実施

## 今後の課題・目標

- 1 | 海外の大学との協働のかたちを模索する
- 2 | 大学だけでなく、政府や企業など多様なステークホルダーとの協働を実践する
- 3 | 新しいデザインワークショップの開発・運営

## ● 教員紹介



環境都市工学部 教授 木下 光(きのした ひかる)

モノ×ヒト=コトをコンセプトとして、香港・シンガポールを中心に公設市場・ストリートマーケット研究、アジアにおけるクールルーフ・ルーフスケープとしての瓦及び瓦建築の研究・開発、開かれた公共空間のデザインや管理運営、都市住宅における敷地計画・住環境形成、戦後日本の都市デザイン論などの研究を行っている。